

○日本 GIF 研究財団年表

年	事 項
1977	世界公共投資基金 (Global Infrastructure Fund) 構想を公表。
1978	総合研究開発機構主催のシンポジウムでGIF構想を紹介。 政府講演の海外広報誌「ルック・ジャパン」にGIF構想が取り上げられ、約3,000部が頒布される。福田首相を通じカーター米大統領も関心を示す。 国際MRA会議で講演（スイス・コー）。GIF構想の初の海外での発表。
1979	西ドイツ国会の招待を受け、海外経済協力委員会で構想を発表。 米ジョージタウン大学国際戦略研究所がGIF特別セミナーを開催。
1980	海外誌でGIF構想が紹介される（エコノミスト、国連食糧農業機関誌等）。 日、欧、OPEC諸国で結成された「パリ・グループ」と討議（日本：経団連 土光会長が中心）。
1981	経団連 土光会長が中心となり、DK会「GIF研究クラブ」発足。
1982	新日鐵 斎藤会長、ドレスデン大学学位授与記念講演で構想を紹介。ホーネッカー書記長が講演資料を要請（ドイツ）。 ガンジー首相と単体会見（インド・デリー）。
1983	衆議院予算委員会で、社会党 佐藤観樹議員の質問を受け、中曽根首相がGIFについて言及。 <JAPIC発足> MITでの「巨大技術アメリカ学会」設立総会で、GIFについて特別講演。 国際建設グループ主催の「国際建設プロジェクトのための協調融資に関する国際会議」にて、GIF構想に関する講演。 中島正樹『地球時代の構想力』上梓。
1984	IFIASニールソン理事長が来日、GIF構想について説明を求める。
1985	DK会クラ運河調査ミッション、運河建設予定地調査（タイ）。 IFIAS会長ボンディ卿、理事長ニールソン博士来日。アンカレッジでGIF構想に関する国際会議を開催したいとの意向が正式に伝えられた。 欧州産業人円卓会議幹部来日。GIF研究クラブと協力可能性を協議。 IFIAS総会でGIF構想について講演、アラスカでの国際会議開催が決定される（ケンブリッジ）。
1986	「世界公共投資基金構想 Global Infrastructure Fund Conceptに関する国際会議」（アンカレッジ、IFIAS、アラスカ太平洋大学、米国大規模プログラム研究所と共催）
1987	GIF東京運営委員会。中曽根首相からGIF構想支援のメッセージ。 国際GIF準備事務局を設置（東京）

年	事 項
1988	<p>タリータウン会議(ニューヨーク)</p> <p>米ベクテル社ベクテル社長、コードウェル副社長来日。アメリカでの日米産業人による会議開催について提案</p> <p>建設省「グローバル・スーパー・プロジェクト (GSP) 委員会」発足、GIF研究クラブも参画</p>
1989	<p>GIF Founder's Meetingを米ベクテル社と共催 (アメリカ・サンフランシスコ)</p> <p>任意団体「北米GIF研究クラブ」設立</p> <p>日本でのGIF推進組織の設立に向け具体的検討開始</p> <p><任意団体「広域天然ガスパイプライン研究会」発足。アジア大陸横断天然ガスパイプライン・ネットワーク建設を支援></p>
1990	<p>「世界経済フォーラム」で、経団連 斎藤会長、佐波副会長がGIF研究組織の設立を宣言 (スイス・ダボス)</p>
1990	日本GIF研究財団設立
1991	<p>”Annual Meeting Davos 1991 World Industry Forum - Engineering & Construction”に参加</p> <p>GIF東京会議</p> <p>中東ピースウォーター・パイプライン現地調査(トルコ)</p> <p>旧ソ連邦、UNEPと共同でアラル海問題に関する国際会議を開催</p> <p>GIFアトランタ会議を北米GIF研究財団と共催(カーター大統領記念センター)</p>
1992	<p>関係各国メコン委員会と打ち合わせおよび現地視察(タイ、ラオス、カンボジア、ベトナム) 1993年、1994年にも数次実施</p> <p>主務官庁より特定公益増進法人の認定を受ける。事務局組織を拡充</p> <p>日本OR学会との共同研究開始</p> <p>「国際水法研究会」を設置(ハーバード大学オールドマン教授等と共同研究)</p> <p>GIFイスタンブール会議(トルコ経団連DEIKと共催)</p> <p>第1回アラル海問題会議を世界銀行と共催(東京)</p> <p>アラル海問題国際シンポジウムを国連大学と共催(東京)</p>
1993	<p><アラル海救済国際基金(IFAS)設立></p> <p>中東ピースウォーター・パイプラインセミナー・研究会(東京)</p> <p>第1回東ヒマラヤ水資源会議(インド、ネパール、バングラデシュの東ヒマラヤ水系3カ国が、初めて地域の水資源について討議)(インド・デリー)</p> <p>世界銀行主催「アラル海の危機に関するセミナー」で、NGOとして唯一発表</p> <p>ボルネオ島における熱帯雨林現地調査実施(マレーシア、インドネシア、ブルネイ)</p> <p>GIFベルリン会議をベルリン日独センターと共催</p> <p>南米河川システム現地調査(ベネズエラ、ペルー、アルゼンチン等)。</p>

年	事 項
1994	<p>第2回ヒマラヤ水資源会議(バングラデシュ・ダッカ)</p> <p>第2回アラル海問題会議を国連大学と共催(東京)</p> <p>「交通および通信プロジェクト推進に関するESCAP会議」で、ユーラシア・グローバル交通ネットワーク構想プロジェクトを発表</p> <p>パナマ運河代替案(第2パナマ運河)について講演会開催</p> <p>建設省の委託を受け、「平成5年度中東地域水資源導水計画基礎調査報告書」発行。</p> <p>第1回アラル海支援国際会議(世界銀行主催)にオブザーバー参加</p> <p>中国黄河流域沙漠緑化のため、中国国家科学技術委員会と合同で「黄河流域考察団」を派遣</p> <p>GIFボストン会議をハーバード大、MITと共催</p> <p>メコン川流域地域のインフラ整備に関する国際シンポジウム(東京)</p>
1995	<p>建設省の委託を受け、「平成6年度新交通軸に関する調査報告書」発行(1996年まで計2冊発行)</p> <p>建設省の委託を受け、「平成6年度アラル海周辺環境改善のための基礎調査報告書」発行(1998年まで計4冊発行)</p> <p>中国国家科学技術委員会、中国科学院蘭州沙漠研究所と共同で、乾燥地の節水農業に関する日中共同研究を開始</p>
1996	<p>第3回ヒマラヤ水資源会議(ネパール・カトマンズ)</p> <p>GIF東京国際会議を国連大学と共催。建設省ほか関係省庁、経団連が後援</p> <p>「ユーラシア・ランドブリッジ ブレインストーミングフォーラム」(東京)にて、ニュー・シルクロード構想を提案</p> <p>南米河川システム国際会議(MIT、ハーバード大、コロンビアオスピナ財団と共催。コロンビア・ボゴタ)</p> <p><インド・バングラデシュ間で「ガンジス川水配分協定」締結></p>
1997	<p>環黒海都市群活性化プロジェクトの報告書作成</p> <p>第3回東ヒマラヤ水資源ワークショップ(ネパール・カトマンズ)</p> <p>アラル海流域諸国に調査団を派遣。「シルダリア川水管理データ収集・制御システム構想」を提案</p> <p>GIF南米河川システム国際会議(東京)</p> <p>アジアパイプライン研究会設立を支援</p>
1998	<p>第4回ヒマラヤ水資源会議、第4回ワークショップ(ネパール・カトマンズ)</p> <p>ネパール コイララ首相来日時に面談、東ヒマラヤ水資源問題について協議</p> <p>日露ラウンドテーブル・モスクワ会議をロシア クルチャトフ研究所、USカナダ研究所、DK会と共催</p> <p>「ASEANインフラストラクチャーの計画とマネージメント」ワークショップを後援(タイ・バン</p>

年	事 項
1999	<p>コク)</p> <p>チャワリット元タイ国首相朝食懇談会(クラ運河)(東京)</p> <p>「砂漠緑化及び地域総合開発分科会活動報告書」を発行(1991年頃からの活動のまとめ)</p> <p>建設省の委託を受け、「平成10年度東ヒマラヤ水系河川管理基礎調査報告書」発行。</p> <p>米州開発銀行総会でオリノコ・メタ構想を発表</p> <p>日本GIFクラ運河調査団がタイ側の要請に基づきタイを訪問。調査結果等をタイ政府側に提供</p> <p>1998年の小淵-江沢民の協力合意を受け、ニュー・シルクロード構想日中合同現地調査(中国)</p> <p>パストラーナ コロンビア大統領懇談会、チャベス ベネズエラ大統領懇談会(オリノコ・メタ)(東京)</p>
2000	<p>ユーラシア・ランドブリッジ東京フォーラムを中国対外貿易経済合作部と共催、外務省後援(東京)</p> <p>オリノコ・メタ川流域総合開発計画国際会議をベネズエラ国家計画開発省と共催(ベネズエラ・カラカス)</p> <p>建設省の委託を受け、「平成11年度南米河川システム(オリノコ・メタ川)基礎調査報告書」発行</p> <p>(ベネズエラ・コロンビア両国大統領会談で、「オリノコ・メタ河川流域総合開発計画」に関するプロトコール交換)</p> <p>“The New Silk Road Development Strategy”を発行(UNDP、中国商務省と共同)</p> <p>第10回ストックホルム水シンポジウムに参加、アラル海問題について発表</p> <p>オリノコ・メタ川流域総合開発国際フォーラムをベネズエラ社会資本省、コロンビア交通省と共催(ベネズエラ・カラカス)</p>
2001	<p>国土交通省の委託を受け、「平成12年度オリノコ・メタ川流域総合開発構想基礎調査」発行。</p> <p>アジア天然ガスパイプライン推進懇談会を数次開催(東京)。</p> <p>GIF東ヒマラヤ水資源ワークショップ(シンガポール)</p> <p>第11回ストックホルム水シンポジウムに参加、アラル海問題について発表</p> <p>2001新亜欧大陸橋(シルクロード)区域合作国際会議を協賛(中国・西安)</p> <p>GIFアラル専門家会議(大津)</p>
2002	<p>国際熱核融合実験炉(ITER)日本誘致の側面支援開始(クルチャトフ研究所と連携)。</p> <p>MIT-GIF対話会にて、緊急時災害復旧支援活動ネットワークを検討(東京)</p> <p>クラ運河に関するADBへのタイ政府使節団派遣を支援</p> <p>シルクロード諸国の関税制度改善と輸送回廊構築のための国際会議に協賛(タジキス</p>

年	事 項
2003	<p>タン共和国・ドゥシャンベ)</p> <p>国土交通省の委託を受け、「平成13年度超広域インフラストラクチャーのセキュリティに及ぼす役割研究」発行</p> <p>第3回世界水フォーラムに参加、アラル海問題について発表(京都)</p> <p>「アラル海水域の過去と未来 国際セミナー」をストックホルム国際水問題研究所と共催(スウェーデン・ストックホルム)</p> <p>「新亜欧大陸橋区域経済合作国際検討会」にて「シルクロード沿線都市の開発計画」のパネル討論に参加(中国・鄭州)</p>
2004	<p>ASEM鉄のシルクロード・シンポジウム出席(韓国・ソウル)</p> <p>オリノコ・メタ川流域開発グローバル・セミナーを国連大学と共催(東京)</p> <p>北極海航路ワークショップを英スコット研究所、アラスカ北方研究所と協力(アメリカ・ケンブリッジ)</p> <p>OECD未来プロジェクト・ラウンドテーブルに参加し、ニュー・シルクロード構想を検討(フランス・パリ)</p> <p>オリノコ・メタ川流域総合開発計画 国際ワークショップをMITと共催(アメリカ・ケンブリッジ)</p>
2005	<p>国土幹線パイプラインGIF懇談会(東京)</p> <p>米ロジャー・ウィリアムズ大学で開催された第2回マクロプロジェクト・カンファレンスで講演</p> <p>ADB特別セミナー「多国間に跨るインフラストラクチャー開発」をトルコ経団連DEIKと共催(トルコ・イスタンブール)</p> <p>ITER建設調印式に陪席(フランス・パリ)</p> <p>GIF東ヒマラヤ対話会(東京)</p> <p>GIFニュー・シルクロード懇談会(東京)</p> <p>OECD・GIF意見交換会(東京)</p> <p>「新シルクロード国際シンポジウム2005」に参加しプレゼンテーション(中国・徐州)</p>
2006	<p>GIF海洋温度差発電意見交換会(東京)</p> <p>GIFミニフォーラム「ハリケーン・カトリーナから学ぶ環境問題」(東京)</p> <p>クラ運河ワークショップをチュラロンコン/タマサート大学学習グループと共催(東京)</p> <p>ADBセミナー「アジアの持続可能なエネルギー開発」で、東ヒマラヤ水資源開発を中心に発表(インド・ハイデラバード)</p> <p>第1回シルクロード市長フォーラムにてUNDP、中国商務部に協力(ウズベキスタン)</p> <p>GIFニュー・シルクロード円卓会議(UNDP、中国政府商務部が後援)(東京)</p>
2007	<p>クルチャトフ研究所とGIF日露ラウンドテーブルを数次開催(東京)。</p> <p>GIFセミナー「アラル海:破壊からの再生・未来への道標」を東京大学大学院と共催(東</p>

年	事 項
2008	<p>京)</p> <p>GIF意見交換会「磁気浮上式鉄道の未来と新欧亜大陸橋(新絹之道)」(東京)</p> <p>ESCAP主催「グローバルゼーション管理委員会第4セッション」に参加し、クラ運河に関し討議(タイ・バンコク)</p> <p>アラスカ北方研究所主催”The Arctic Energy Summit”に出席(アメリカ・アンカレッジ)</p> <p>UNDPシルクロード・イニシアティブ会議に参加、討議および意見交換(中国・蘇州)</p> <p>GIFセミナー「地域紛争、国境を越える環境影響とインフラの役割」を東京大学大学院と共催(東京)</p> <p>MIT-GIF意見交換会「磁気浮上式鉄道システム推進に向けて」(東京)</p> <p>GIF日露ラウンドテーブル(東京)</p> <p>第3回シルクロード市長フォーラムに参加し、シルクロードブランド形成戦略等を紹介(カザフスタン・アルマトイ)</p> <p>GIF-USARC対話会(東京)</p> <p>CGPプロジェクト会議「地域紛争終了後の持続可能な開発のための資源管理と外交力強化」を米国環境法研究所(ELI)、東京大学大学院と共催(東京)</p> <p>GIF意見交換会「天然資源管理・インフラ整備を通じた紛争後の平和構築強化」(東京)</p> <p>南カザフスタン大学主催の「アラル海環境改善シンポジウム」において、シルダリア川水管理データ収集・制御システムの最新版を提案(カザフスタン・アスタナ)</p>
2009	<p>トルコ大・東大-GIFセミナー「中東地域の水資源、環境およびインフラ」(東京)</p> <p>第1回国際シンポジウム「紛争終了後地域の持続可能な開発のための資源管理と外交力強化」をコロンビア大学、ELI、東京大学大学院、日米センターと共催(アメリカ・ニューヨーク)</p> <p>第4回シルクロード市長フォーラムに参加し意見交換(韓国・ピョンテク)</p> <p>中央アジア河川水資源・アラル海に関する研究懇談会(東京)</p> <p>GIF日露ラウンドテーブル(東京)</p> <p>GIF北極圏フォーラム(東京)</p> <p>OECD国際未来研究「未来の大陸横断インフラストラクチャープロジェクトステアリンググループ会議」に参加し、中長期(2030-2050年)の交通インフラにつき意見交換(フランス・パリ)</p> <p>UNESCAP主催の運輸・交通に関する委員会に参加し、アジア太平洋地域の交通インフラを中心に意見交換(タイ・バンコク)</p>

年	事 項
2010	<p>北極圏の環境・交通・資源に関する懇談会(東京)</p> <p>国際シンポジウム「紛争からの復興における資源管理の向上:人間の安全保障へのビジネスの役割」を東京大学大学院と共催(東京)</p> <p>GIF北極圏朝食会を数次開催(東京)</p> <p>国際シンポジウム「水資源管理に関わる紛争の軽減と安全保障の強化」を後援(東京)</p> <p>国際シンポジウム「紛争後の安全保障と外交の強化」を東京大学と共催(東京)</p> <p>UNESCAP主催の運輸・交通に関する会議に参加し、意見交換(タイ・バンコク)</p> <p>東京大学、ELI、GIFジョイントワークショップ開催(アメリカ・ニューヨーク、ワシントンDC)</p> <p>中日新シルクロード企業協力フォーラムに参加し、意見交換(中国・連雲港)</p> <p>ワークショップ「アジアでのダムと第三国定住」に出席(東京)</p> <p>第5回国際シルクロード会議出席(ウズベキスタン・サマルカンド)</p>
2011	<p>「紛争後の資源管理」ジョイントワークショップに出席し、意見交換(カナダ・モントリオール)</p> <p>外務省主催北極タスクフォースに出席(東京)</p> <p>Alaska Stands with Japanにウェブ参加</p> <p>日露ラウンドテーブル朝食会(東京)</p> <p>Arctic Imperativeに出席し意見交換(アメリカ・アラスカ)</p> <p>第44回セミナー惑星の緊急事態の国際会議に出席(イタリア)</p> <p>国際シンポジウム「平和構築のための天然資源の活用」出席(アメリカ・ワシントンDC)</p> <p>第6回シルクロード市長フォーラムに参加し意見交換(ロシア・グロズニー)</p> <p>国際セミナー「紛争後の社会としての東ティモールにおける天然資源管理、インフラ開発、防災」を共催(東京)</p> <p>日米合同シンポジウム「平和構築と国家建設のための天然資源管理」をJICA研究所、東京大学、ELIと共催(東京)</p> <p>国際セミナー「紛争後社会としての東ティモールにおける資源管理、インフラ整備、防災」を東京大学、東京大学大学院、京都大学、ELIと共催(東京)</p> <p>国際シンポジウム「ロジスティクス数理の理論と実践」に出席し意見交換(東京)</p> <p>APECによる持続可能な発展への主要テーマ「海洋と大陸棚への複合的取組み」に出席(横浜港停泊中の"Nadezhda"の船内)</p>
2012	<p>第7回シルクロード市長準備フォーラムに参加し、第7回フォーラムに向けて意見交換(トルコ・ガジアンテップ)</p> <p>ワークショップ「アジアにおけるダム建設による移転」を東京大学大学院と共催(東京)</p> <p>「アジア太平洋地域におけるスーパーグリッド」を東京大学大学院と共催(東京)</p> <p>日露ラウンドテーブル開催(東京)</p> <p>ESCAP交通大臣会合に出席し、関係者と意見交換(タイ・バンコク)</p>

年	事 項
2013	<p>GIF北極圏フォーラム(東京)</p> <p>OECDフォーラム2012に出席(フランス・パリ)</p> <p>UNIDOグリーンシルクロードワークショップに出席し、関係者と意見交換(中国・ウルムチ)</p> <p>UNIDOアジアハイレベルラウンドテーブル2050に出席し、シルクロード関係者と意見交換(オーストリア・ウィーン)</p> <p>国境を越えるエネルギーインフラ・スーパーグリッド網研究会数次開催(東京)</p> <p>第7回シルクロード市長フォーラム出席(トルコ・ガジアンテップ)</p> <p>国際ワークショップ「ダム建設による非自発的移転者の生活再建:アジアの事例から」(千葉)</p> <p>国境を越えるエネルギーインフラ・スーパーグリッド研究会数次開催(東京)</p> <p>GIF北極圏フォーラム数次開催(東京)</p> <p>海上安全保障:ヨーロッパとアジアから学んだ教訓、北極海の安全保障会議に出席し、関係者と意見交換(イギリス・ロンドン)</p>
2014	<p>GIFシルクロード会議(東京)</p> <p>第8回シルクロード市長会議出席(韓国・麗水)</p> <p>マスタートール科学技術大学と東京大学のジョイントオープンセミナー出席(アブダビ)</p> <p>GIF-マスタートール工科大学朝食会(東京)</p> <p>専門家会合Improving Policy and Practice on Return Migration after Natural Disastersを東京大学大学院、福島大学、ELIと共催(東京)</p> <p>Beyond Land-for-Land: Towards New Paradigm of Resettlement Policyを東京大学大学院、法政大学と共催(東京)</p>
2015	<p>GIF北極圏フォーラム(東京)</p> <p>第9回シルクロード市長会議出席(中国・ウルムチ)</p> <p>ESCAP交通大臣会合出席(タイ・バンコク)</p> <p>セミナー“Impact of Planned New Funding Scheme for Hydropower Development and Electricity Trade”を東京大学大学院と共催(東京)</p> <p>マスタートール工科大学-GIF-東京大学セミナー(東京)</p> <p>国連シルクロード会議に出席し、意見交換(中国・泉州)</p> <p>原子力の未来を語る会(東京)</p> <p>海のシルクロード懇談会(東京)</p> <p>GIF原子力エネルギー懇談会(東京)</p> <p>ニューシルクロード東京ダイアログ(東京)</p>
2016	<p>国連シルクロード都市連盟プロジェクト理事会出席(中国・北京)</p> <p>第1回国連海陸シルクロード都市連盟国際会議出席(中国・青島)</p>

年	事 項
2017	<p>GIFシルクロードラウンドテーブル懇談会(東京)</p> <p>国連海陸シルクロード都市連盟出席(中国・泉州)</p> <p>げんしりよくの未来研究懇談会を数次開催(東京)</p> <p>理事長山元順雄が長年の研究への功績を認められ、日本OR学会より表彰される</p> <p>GIF日露ラウンドテーブル(東京)</p> <p>国連シルクロード都市連盟就任都市フォーラム出席 (中国・福州)</p> <p>島嶼地域開発・OTEC(海洋温度差発電)推進懇談会(東京)</p> <p>UNIDO 一帯一路国際会議出席(オーストリア・ウィーン)</p> <p>第3回交通大臣会議参加(ロシア・モスクワ)</p> <p>第2回国連海陸シルクロード都市連盟出席(中国・泉州)</p> <p>クルチャトフ研究所-GIF未来セミナー(東京)</p> <p>日中GIF対話「日中自由貿易の未来 中国国際経済交流中心課題チームを迎えて」開催(東京)</p> <p>タイ運河国際会議に出席し、関係者と意見交換 (タイ・バンコク)</p> <p>タイ運河国際会議報告会(東京)</p> <p>Bridge for Cities (2nd BRI Event)出席(オーストリア・ウィーン)</p> <p>2017中国アジア傑出経済人交流フォーラムに出席し、講演(中国・天津)</p>
2018	<p>日露ラウンドテーブル「教育と科学と技術」(東京)</p> <p>日中GIF対話開催(東京)</p> <p>High-Level Forum on New Urbanizationに出席し、講演 (中国・西安)</p> <p>OCAJI(海外建設協会)機関誌に『今アラル海の「消滅」から学ぶこと』を寄稿。東京大学大学院中山幹康教授と共著</p> <p>海洋温度差発電意見交換会(東京)</p> <p>第3回海陸シルクロード都市連盟出席し、講演 (中国・泉州)</p>
2019	<p>国境を越えるエネルギーインフラ研究会開催(東京)</p> <p>GIF研究会「科学と技術について」(東京)</p> <p>第52回アジア開発銀行年次総会の海洋温度差発電(OTEC)セミナーを支援(フィジー)</p> <p>クルチャトフ研究所-GIF懇談会(東京)</p> <p>中華人民共和国国務院商務部 国際貿易経済合作研究院流通と消費研究所日本調査団 意見交換会(東京)</p> <p>タイ運河(クラ運河)関係者等と、2020年度のタイ運河国際会議開催について検討、意見交換(タイ・バンコク)</p> <p>GIFシルクロード懇談会(東京)</p>